

第102回 薬剤師国家試験問題検討委員会「法規・制度・倫理」部会報告書

日時 平成29年5月13日(土)13:00～17:00

平成29年5月25日

場所 金沢東急ホテル

出席者

私立大学	58校	71名
国公立大学	10校	10名
計	68校	81名

委員長名	鈴木 順子
所属大学名	北里大学

1. 総合評価

必須問題は概ね平易な問題であったが、一部誘導的だと評価される問題も散見された。しかし、洗練度はともかくとして、今後に照らして、意欲的な出題がみられ、薬剤師に求められる基本的な資質についてバランスよく配置されていたと考えられる。理論問題は、一部詳細に過ぎて、不適切ではないか、という意見はあったものの、全体を俯瞰すれば、今後、重要となる項目を含み、指標となる可能性もあることから、むしろ、今後を占う上で重要な設問もあった。なお、実験的に出題された可能性のある問題について、記述が不適切であるという指摘がみられたことから、今後のブラッシュアップが課題であるかもしれない。実践問題においても同様のあいまいな記述が散見され、結果、解なしとなった問題があったのは残念であり、出題者の努力を考えれば、十分にブラッシュアップが可能だと思われることから、次年度以降に期待したい。統計関連の問題は、衛生や薬物治療領域との兼ね合いもあると考えられるが、本分野に特徴的なトピックを扱っており、まだ、評価は定まらないと思われるものの、同様に積極的な出題が望まれる。

2. 各項目の評価

1)「誤りがあると判断された問題」

実践 問317 正答が3つあるため、「2つ選べ」の問題指示にあわない。

また、すべての選択肢において、記述のあいまいさがあり、法的責任・義務関係の主体が不明であるため、複数正解としても処理がたい。

2)「問題の観点から不適切である問題」

出題基準からの逸脱等の観点から多数による不適切意見がついた問題はないが、理論 問148 老人保健制度を取り上げたことにつき、74校中17校が疑問を呈した。

理論 問149 出題基準範囲ではあるが、難易度が高すぎるとして「適切」としきれないとする意見が17校から出ている。

3)「問題・選択肢の表現が不適切である問題」

必須 問72 選択肢3の「試験研究」の範囲が不明である。選択肢5の「再審査期間」は「調査期間」とすべきである。

必須 問75 リード文中「なお、薬局は・・・」は「なお、薬局開設者は・・・」とすべきである。

必須 問76 リード文「副作用救済給付の対象」は、「副作用救済給付の種類」とすべきである。

必須 問80 常識的に言って、誤答選択肢の表現が判り易い。誘導的である。

理論 問147 選択肢1 「医薬品の公定価格」は、正しくは「医療用医薬品の公定価格」である。

理論 問149 選択肢2 最近の分析手法に照らして完全な誤答といえるか不明である。

実践 問317 すべての選択肢において、記述のあいまいさがあり、法的責任・義務関係の主体が不明である。なお、解なしとなった問題である。

4)「複合性が不適切な問題」

実践 問314-315 事例に即した複合性という意味では問315は麻薬管理者よりも麻薬事故管理に焦点をおいた問題とすべきではないか。

実践 問316-317 リード文に関連して独立性が高い。新たな条件設定により、ますます複合性が低下している。なお、問317は解なしとなっている。

5)「授業で触れていない問題」

必須 問71 一般社会常識レベルとして、特に時間を割いて教えていないとする大学が5校あった。

必須 問72 通常要求を超えた細かいレベルの問題として、十分には教えていないとする大学が8校あった。

必須 問80 実務領域の問題と考え、そのような視点では教えていないとする大学が15校あった。

理論 問143 通常要求を超えた細かいレベルの問題として、十分には教えていないとする大学が14校あった。

実践 問317 問題のような視点では教えていないとする大学が14校あった。

その他特記事項

授業では触れていないの中には、「全く触れていない」と「一部触れている」が含まれる。詳細度や視点の差異までは評価できないため、「教えている」以外は不十分として上記のような判断となった。

3. 各問題の評価

別紙1のとおり

	番号	誤り			適切性			表現			授業で		
		ある	ない	わからない	不適切	適切	わからない	不適切	適切	わからない	教えていない	教えている	一部
必須問題	71	0	57	1	1	54	3	0	55	3	5	52	1
	72	0	57	1	1	55	2	2	54	2	3	50	5
	73	0	57	1	0	57	1	0	57	1	1	57	0
	74	0	57	1	0	57	1	0	57	1	1	57	0
	75	1	56	1	0	57	1	1	56	1	0	57	1
	76	1	56	1	1	56	1	3	54	1	2	54	2
	77	0	57	1	0	56	2	0	57	1	0	58	0
	78	0	56	1	0	56	1	1	55	1	0	57	0
	79	0	56	1	0	56	1	0	55	2	4	48	5
	80	0	53	4	2	51	4	2	50	5	6	42	9
一般問題（薬学理論問題）	141	0	58	1	0	57	2	2	55	2	0	51	8
	142	0	58	1	0	58	1	0	57	2	0	52	7
	143	0	57	2	0	56	3	1	55	3	1	45	13
	144	0	58	1	0	58	1	1	54	4	0	53	6
	145	0	58	1	0	58	1	2	56	1	2	51	6
	146	0	56	2	0	56	2	0	55	3	0	50	8
	147	0	57	1	0	56	2	2	54	2	0	49	9
	148	0	57	1	0	41	9	3	49	6	2	34	2
	149	0	53	5	3	41	14	5	43	10	13	25	20
	150	0	56	3	0	52	7	2	51	6	2	49	8

	番号	誤り			適切性			表現			複合性			授業で		
		ある	ない	わからない	不適切	適切	わからない	不適切	適切	わからない	不適切	適切	わからない	教えていない	教えている	一部
一般問題（薬学実践問題）	307	0	57	2	0	54	5	3	50	6	0	52	7	6	37	16
	309	0	58	1	0	58	1	0	57	2	0	57	2	0	58	1
	311	0	58	1	1	57	1	0	58	1	0	53	6	0	56	3
	313	0	57	2	0	53	6	0	56	3	0	52	7	3	49	7
	315	1	55	3	1	58	0	5	52	2	1	54	4	0	58	1
	317	26	25	8	13	36	10	26	24	9	3	47	9	3	45	11
	319	0	57	2	1	56	2	1	55	3	1	51	7	0	56	3
	321	0	57	2	1	55	3	2	50	7	0	54	5	1	52	6
	322	0	56	2	1	54	3	1	55	2	1	53	4	3	42	13
	325	0	54	4	2	47	9	1	54	3	0	54	4	7	28	23

(注)数字は回答大学数である。